



新喜多中だより

校長 河本 浩幸



～うちの生徒はみんな新喜多の子～

令和7年3月3日

第25号



学校 HP はこちら👉

「正解」

最近、昼休みの校内放送で頻繁に流れている曲があります。RADWIMPS の「正解」。私が好きな曲の一つでもありますので、曲が流れるといつも歌詞を口ずさみながら昼休みを過ごしています。なぜ、頻繁にこの曲が流れているのかというと、3月13日に予定している卒業証書授与式において、78期生の生徒たちが卒業の歌としてこの「正解」を歌うことに決まったからのようです。ご存じの方も多いかもかもしれませんが、この曲は毎年行われる NHK 主催のイベント「18 祭(フェス)」から生まれました。RADWIMPS のボーカル、野田洋次郎さんが18歳世代の感じている様々な想いや、抱えている悩みなどを聞いて曲作りをし、その曲を1000人の18歳世代たちとともに、一夜限りのパフォーマンスで共演するのですが、涙を流しながらエネルギーに歌う若者たちの姿がとても感動的で、心を打たれます。このパフォーマンスは NHK の YouTube でも観ることができますので、ぜひご覧になってみてはいかがでしょうか(QR コードを右側参照)。そして、この「正解」の歌詞には、これから未来を生き抜いていく若者にとって大切なメッセージがたくさんつまっています。



「ああ 答えがある問いばかりを 教わってきたよ

そのせいだろうか 僕たちが知りたかったのは いつも正解などまだ銀河にもない」

「僕たちが知りたかったのは いつも正解など大人も知らない」

「答えがある問い」というのは、計算式を解いたり、暗記をして覚えられたりするような、テストの点数で測れるようなものと解釈できます。しかし、知りたかったのは「一番大切な君と仲直りの仕方」、「大好きなあの子の心の振り向かせ方」、「悔しさでにじんだ心の治し方」、「傷ついた友の励まし方」など、正解のないもの。そして歌詞はこのように続きます。

「だけど明日からは 僕だけの正解をいざ 探しにゆくんだ また逢う日まで」

人間関係の悩みや“自分がどう生きていけばいいのか”という、答えがない悩み、これは大人になっても変わらず抱き続けているもので、「永遠の問い」なのではないでしょうか。「正解」には若者に対して、“自分だけの正解を探しに行くんだよ”と優しく後押しをするメッセージが込められているのかもしれない。

卒業式まであと10日となりました。78期生のみなさんが、新喜多中学校で出会った仲間や先生たちを思い浮かべ、学校生活を愛おしく思い出しながら、未来へ向かって羽ばたこうとする、そんな思いを胸に、「正解」を歌ってくれることを期待しています。新喜多中学校78期生のみなさんにとって、卒業が素敵な未来への新たなスタートとなることを祈っています。「よーい、はじめ」。

～制限時間は あなたのこれからの人生 解答用紙は あなたのこれからの人生～

RADWIMPS 野田洋次郎

●1年生車いすバスケットボール体験学習

2月4日(火)、force+start(フォースタート)という車いすバスケットボールのチームの方に来ていただき、1年生が車いすバスケットボール体験学習を行いました。生徒たちは、車いすですぐ素早く動いたり、シュートを打ったりすることにかなり苦戦していましたが、普段なかなか経験できない貴重な体験ができました。いろいろな質問にも答えてくださり、障がいを持つ方々の努力などに触れ、学ぶことができました



●2年生校外学習

2月13日(木)、2年生が校外学習を行いました。大阪メトロの1日乗車券を利用し、グループで大阪市内の各所を周遊しました。遠くから見える大阪城、近くから見るとこんなにも迫力あるんだとビックリしている生徒もいました。大阪府警では白バイ乗車、NHKではスタジオ体験、科学館では不思議で楽しい学びの体験など、グループのメンバーとともに楽しんでいました。



●吹奏楽部コンサート

2月23日(日)、吹奏楽部が文化創造館大ホールで行われた「近畿大学吹奏楽部×市内中学校吹奏楽部 合同コンサート」に参加しました。「リトル・マーメイド・メドレー」、「オーメンズ・オブ・ラブ」の2曲を近畿大学吹奏楽部と他の中学校の吹奏楽部とともに迫力のある演奏をし、会場を沸かせてくれました。

